

コース 28 がっさんじゅうそう 月山縦走

リーダー CL N/S SL E/S
 実施日 平成28年8月11日(木・祝)
 天候 晴れのち曇り
 参加者 20人 (男性 8 女性 12)
 グレード C
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:25	新津駅西口経由
月山八合目P	9:30	9:45	弥陀ヶ原に点在する池塘と花々を見ながら登る
仏生池小屋	11:20	11:27	休憩。小屋前はタムラソウの群落
行者返し	11:59	11:59	清々しい空気と美しい高山植物が多数
月山山頂 1,984m	12:43	12:47	一等三角点で集合写真。お花畑に囲まれ昼食
牛首分岐	14:41	14:41	ニッコウキスゲ咲く尾根コースから外れ湿原へ
リフト上駅	15:25	15:30	今夏は湿原に雪渓がない。完歩後に集合写真
姥沢駐車場	16:06	16:23	歩数 1.8 万歩程。庄内物産館で夕食、土産の調達
秋葉区役所前	20:25		計画より 1 時間早く帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- 今年から制定された「山の日」に日本百名山、花の百名山の「月山縦走」を計画した。
- 登山日和に恵まれ、月山八合目から東北自然歩道を高山植物を見ながら山頂へ、姥沢へと下る。
- たおやかな稜線は 11 km と長丁場。それを乗り切れた



のは、花々に癒され、山々の眺望また、大汗を掻く程でもない心地よい涼しい風と気温であった。

- タムラソウとアザミの違いの話題になり、仏池小屋前はタムラソウの群生が見られた。
- 山頂附近の景色の良い場所は 500 名程の大勢の登山者で賑わっていた。我々は混雑を避け、お花畑に囲まれたエリアに席を設けた。貸切りでゆっくりと昼食タイム。
- 下山時、急登を大勢の親子グループが上ってきた。元気な挨拶を交わしながら下る。
- 下山後に楽しみのひとつ、温泉入浴の予定を割愛した。これはバスの利用できる時間制限によるものだが、気持ち良い山旅をしたいものだ。

「花の月山縦走路」

(1660) H/O

8月11日 かねてから念願だった月山縦走をしてきた。薄曇りの新潟を抜けると山形の海と空は青く、記念すべき「第一回山の日」に月山に向かう私たちを祝福してくれているようだった。月山高原ラインでは心配していたシャトルバスへの乗り換えもなく駐車場に乗り入れることができた。

サブリーダーのSさんを先頭に、弥陀ヶ原湿原の右側から山頂に向かった。湿原に足を踏み入ると紫色のタチギボウシやハクサンイチゲなどの群落が私たちを迎えてくれた。標高1400mのこの巨大な高層湿原はまさに花盛りだった。

湿原をぬけ無量坂のゆるやかな石ころ道でも花は絶えなかった。チシマザサを背にチングルマは白いじゅうたんを広げているシタムラソウやハクサンフウロウ、なんとタテヤマリンドウも可愛い花を咲かせている。

やがて道沿いに月山信仰者の墓石がぼつぼつと現れ始めると9合目の仏生池に着いた。数年前に建て替えられた仏生池小屋は前より大きく、池に面した入り口は広く開放されていて登山客でにぎわっていた。池の周りにもたくさん花が咲いていたが、久しぶりの山歩きの疲れを癒すためエネルギー補給に忙しい私には花を愛でる余裕がなかった。

オモワシ山を左に巻きながら緩やかな石のごろごろした道は続く。この山では一番の難所(?)と思われる行者返しを上り少し行くと東側にオモワシ原が広がって小さな雪渓も見える。以前何度か春の花を楽しみに来たときはこの辺から雪を踏んだことを思い出した。足の不調でみなさんから一步遅れた私は一等三角点には立ち寄りず、そのまま山頂をめざした。

午後1時頃の月山神社のある山頂付近はたくさんの登山者で混雑していた。山頂小屋前の道を右に折れ、朝日連峰から月山神社まで広く見渡せ花が咲き乱れる絶好の場所で昼食をとった。

定刻の1時45分には下山開始。ここから先は私には未踏の世界。花畑の中に池塘が点在する高原台地は広々としていて、登山者にも爽やかな風を運んでくれている。その先に広がる緩やかな東斜面は大雪城というすてきな名前があり、いくつかの低い山々の先には遠く山形平野が見えていた。ところが、しばらくすると大きな石がごろごろしている鍛冶月光の急坂が待ち構えていた。足元に注意しながら必死で下っていくと次々と人が登ってくる。今夜は頂上小屋で泊まるのだろう。



弥陀ヶ原湿原



仏生池小屋



行者返し



山頂附近は大勢の登山者

やがて右前に姥ヶ岳が迫り、左手はカール底のような草原の月山スキー場が見渡せる牛首の分岐に着いた。少しの休憩後、左の石畳みの道と木道をみんなで下っていった。午前には歩いた弥陀ヶ原コースでは色とりどりの花が咲いていたが、ここでのこの時期の主演はニッコウキスゲのようで他の花は少ない。しかもこの花は麓の南向きに咲くものだから追い越しざまにオレンジ色に気づくことが多かった。



小屋前広場から月山神社

小さな沢を横切ったあと少し上り返し、姥ヶ岳との分岐にくるとリフト乗り場は目の前だった。リフト乗り場には水飲み場があり冷たい月山の水で喉を潤すことができ嬉しかった。そして時間に余裕を持たせた計画を立ててくれたリーダーや、足の遅い私を励ましてくれたメンバーのみなさんに感謝しつつ、縦走路の終点である姥沢へと下っていった。



下山（正面は姥ヶ岳）



リフト上駅前広場にて



牛首分岐から



出会えた主な花々



ギボウシ



コウリンカ



ナンブタカネアザミ



タムラソウ



ミヤマトウキ



イワショウブ



ヤマハハコ



シロバナニガナ



ハクサンイチゲ



ハクサンフウロ



ミヤマキンポウゲ



ウサギギク



タテヤマリンドウ



キンコウカ



コバイケイソウ



トウチソウ



シロバナトウチソ



ミヤマウスユキソウ



モミジカラマツ



タテヤマウツボグサ



ハクサンシャジン



タカネアオヤギソウ



ニッコウキスゲ



アオノツガザクラ